

株式会社 御中
課長 様

平成 20 年 月 日
株式会社 環境工房

騒音測定及び防音工事のご提案

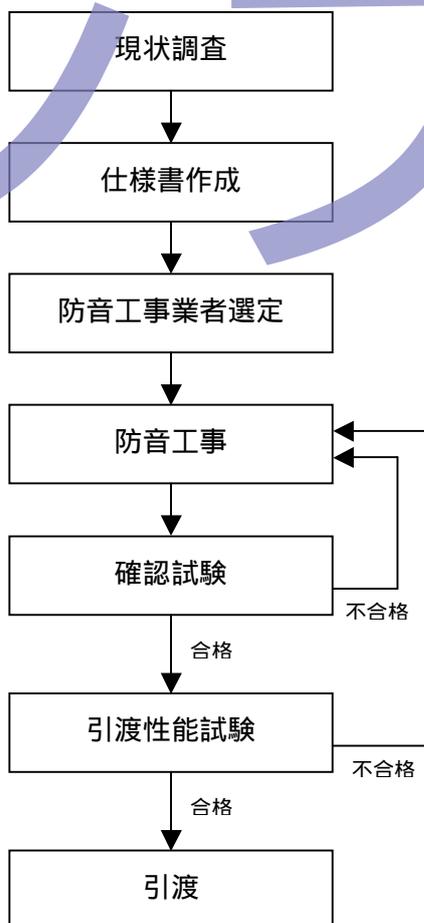
1. 概要

現状の騒音レベルの測定後、防音工事の減音目標値を設定し、防音工事業者に仕様書を提示して工法、金額、保証の確認を行い業者の選定を行う。

環境工房は、第三者として業者に必要なデータを提供する。また、現地説明及び相談に随時応じる。

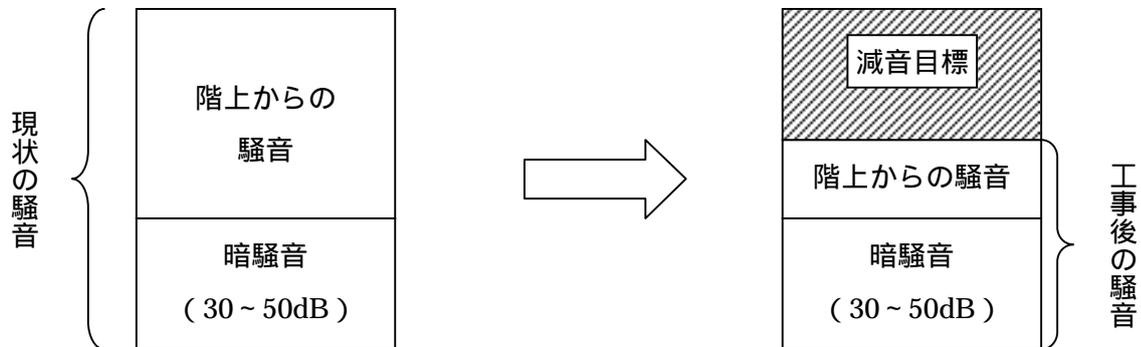
工事後に確認試験及び引渡性能試験を行う。目標値を満足しない場合は、対策を業者の責任において行うものとする。

工事代金は性能確認後に支払うものとする。



2. 現状調査

現状の騒音は、元からある騒音(暗騒音)に階上の騒音が加わったものであり、防音工事をしても無音になるわけではない。従って、費用対効果で減音目標を定めないとトラブルの原因となる。



3. 仕様書

現状の騒音(振動)発生源の位置、マウント方法、写真、図面、構造図、性能発注、保証等を記載する。

4. 防音工事業者への発注方法

上記の減音目標を満足させる工法・工期の防音工事計画書を提出させ、工事後の一定期間減音効果が認められれば工事代金を支払うものとする。

5. 防音効果の確認

工事後及び、工事後の一定期間経過後に騒音測定を行い、防音効果の確認を行う。

6. メリット、デメリット

メリット

- ・ 目標値を定めることにより、顧客、工事業者ともに合意点が明確になり、トラブルが少ない。
- ・ 複数の合見積もりをとりやすく、一定の性能が基準であるから比較しやすい。

デメリット

- ・ 仕様書の作成及び業者選定にコスト、時間がかかる。

7. 必要資料

- ・ 平面図、断面図、床面構造図、振動源と思われる初期仕様
- ・ 現状の写真
- ・ 現状の室内騒音(稼動時(休憩時)、停止時)

以上